

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 ある都市の気候統計において、7月前後の気温が低くなる時期（冬）に降水量が増え、1月前後の気温が高くなる時期（夏）に降水が極端に少なくなるという特徴が見られます。このような気候が見られる都市と、その名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. ブラジル北部のマナウス — 熱帯雨林気候 | 2. ブラジル南東部のサンパウロ — 温暖湿潤気候 | 3. チリ中部のサンティアゴ — 地中海性気候 | 4. ベネズエラ北部のカラカス — サバナ気候 |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問2 南アメリカのブラジルでは、サトウキビなどを原料とした燃料が自動車のエネルギーとして広く普及しています。このように、植物などの生物資源（バイオマス）を原料として製造されるアルコール燃料を何と呼びますか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|-----------|---------|
| 1. バイオ燃料 | 2. 天然ガス | 3. シェールガス | 4. 化石燃料 |
|----------|---------|-----------|---------|
- 問3 南アメリカ南部のアルゼンチンにおいて、西側にそびえる高い山脈を背景とした広大な平原で肉牛の放牧が行われている理由について、土地の条件に着目して説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 年間を通じて高温多湿な熱帯雨林気候であり、牧草が1年中絶え間なく自生し続けるため | 2. 急峻な山岳地帯の地形を活かすことで、外敵から牛を守りながら効率的に管理できるため | 3. パンパと呼ばれる平坦な温帯草原が広がっており、牛の飼育に必要な広い面積を確保しやすいため | 4. 地中海性気候に属しており、夏季の乾燥に強い家畜として牛が最も適しているため |
|---|---|---|--|
- 問4 ブラジルでは近年、大豆の作付面積が増加しています。10月から3月にかけて大豆を栽培した後、同じ耕地を利用して2月から7月にかけて別の農作物を栽培する「二期作」が行われていますが、この大豆の後に「第2作」として栽培され、作付面積が急増している農作物はどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|-------|-------|
| 1. トウモロコシ | 2. コーヒー | 3. 綿花 | 4. 小麦 |
|-----------|---------|-------|-------|
- 問5 南半球に位置するオセアニア州のオーストラリア大陸について、この大陸の東側と西側にそれぞれ面している海洋の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 1. 東側：大西洋、西側：太平洋 | 2. 東側：太平洋、西側：インド洋 | 3. 東側：インド洋、西側：太平洋 | 4. 東側：太平洋、西側：大西洋 |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
- 問6 オーストラリアの貿易相手国の変化について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる国名と、その背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。「1960年の統計において、オーストラリアの輸出額全体の約26%を占める最大の貿易相手国は（ ）であった。しかし、その後は地理的に近い日本や中国などのアジア諸国との結びつきが強まり、貿易構造は大きく変化した。」（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. アメリカ合衆国 — 冷戦下における軍事同盟に基づき、農産物の輸出を独占していたため | 2. ドイツ — 第二次世界大戦後の復興需要により、鉱山資源の主要な輸出先となっていたため | 3. イギリス — かつての植民地としての歴史的・経済的なつながりが非常に強かったため | 4. フランス — 南太平洋の島々を共同統治していた関係から、自由貿易が盛んだったため |
|--|---|---|---|
- 問7 オーストラリアがかつて行っていた白人優先の政策（白豪主義）を廃止した後に目指すようになった、異なる民族や文化を持つ人々が互いの文化を尊重し合いながら共存する社会構造を何というか答えなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. 白豪主義社会 | 2. 同化社会 | 3. 多文化社会 | 4. 単一民族社会 |
|-----------|---------|----------|-----------|
- 問8 南アメリカ大陸のアルゼンチン共和国の首都ブエノスアイレス周辺には、肥沃な土壌を持つ広大な温帯の平原が広がっています。この平原では、温暖な気候を活かした小麦の栽培や牛の放牧が盛んに行われていますが、この地域の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------------|--------|----------|
| 1. パンパ | 2. グレートプレーンズ | 3. セルバ | 4. プレーリー |
|--------|--------------|--------|----------|
- 問9 南半球のオセアニア地域に位置するオーストラリア大陸において、ヨーロッパの人々が移住してくる以前から、独自の文化を築いて生活してきた先住民族を何と呼びますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. ヒスパニック | 2. アボリジニ | 3. マオリ | 4. イヌイット |
|-----------|----------|--------|----------|
- 問10 世界各地の州の区分において、北アメリカ大陸やアジア、ヨーロッパなどとは異なる独立した地域として扱われる場所があります。広大な太平洋の海域に位置し、大陸全体が一つの国となっているオーストラリアや、火山島やサンゴ礁の島々から成る国々が含まれる州はどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. ヨーロッパ州 | 2. アジア州 | 3. アフリカ州 | 4. オセアニア州 |
|-----------|---------|----------|-----------|
- 問11 オーストラリアにおける移民の受け入れ状況の変化について、1970年代以降、アジアや東南アジアからの移民が大幅に増加した背景にある制度や社会の仕組みの説明として最も適切なものはどれか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 特定の地域からの移民を制限していた白豪主義が廃止され、多様な文化を尊重する多文化主義へと政策が転換されたため。 | 2. ヨーロッパ州での国家間の統合が進んだことで、ヨーロッパからオーストラリアへの移住が禁止されたため。 | 3. オーストラリアの主要な産業が農業から工業へ転換したことに伴い、ヨーロッパの高度な技術者をすべて解雇したため。 | 4. アジア諸国との貿易摩擦を解消するために、アジア各国の国民にオーストラリア国籍を無条件で付与したため。 |
|--|--|---|---|
- 問12 1990年代以降、世界的な需要の高まりを受けて大豆の増産を続け、輸出量を大幅に伸ばしてきた南アメリカの国として正しいものを答えなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|--------|-------|
| 1. ブラジル | 2. アルゼンチン | 3. ペルー | 4. チリ |
|---------|-----------|--------|-------|
- 問13 ブラジル、イギリス、中国の3か国における1985年から2035年までの人口推計に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国では少子高齢化の影響により、1985年から2035年にかけての年少人口割合の減少幅が、老年人口割合の増加幅を大きく上回ると予測されている。 | 2. イギリスでは高齢化の影響を強く受けるため、2010年から2035年にかけて、15歳から64歳までの生産年齢人口の実数は減少すると予測されている。 | 3. ブラジルの15歳未満の人口が占める割合（年少人口割合）は、1985年の37.1%から2035年には17.2%へと、半分以上に減少すると予測されている。 | 4. ブラジル、イギリス、中国のいずれの国においても、2035年の人口推計では老年人口割合が20%を超え、5人に1人が高齢者になると予測されている。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 チリ中部のサンティアゴー 地中海性気候	7月に気温が低くなるのは南半球に位置していることを示しています。気温が高い夏に乾燥し、気温が低い冬に雨が降るという降水パターンは地中海性気候の典型的な特徴です。南アメリカ大陸において、この気候は大陸西岸の中緯度地域であるチリ中部に分布しており、サンティアゴはその代表的な都市です。
問2	答え 1 バイオ燃料	植物が成長する過程で光合成により二酸化炭素を吸収するため、燃焼させても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさないエネルギーとして注目されています。ブラジルは世界有数のサトウキビ生産国であることを背景に、石油依存からの脱却を目指して早くから開発・普及が進められてきました。
問3	答え 3 パンパと呼ばれる平坦な温帯草原が広がっており、牛の飼育に必要な広い面積を確保しやすいため	アルゼンチンの畜産業の背景には、パンパという大規模な平原の存在があります。この地域は遮るもののない平坦な地形が続いており、低コストで大量の肉牛を飼育する「大規模放牧」に適しています。アンデス山脈からの地理的条件や温帯という気候条件が、世界有数の畜産地帯を作り上げる要因となりました。
問4	答え 1 トウモロコシ	ブラジルでは、大豆の生育期（10月～3月）と重ならない時期（2月～7月）にトウモロコシを「第2作」として栽培する二期作が普及しています。これにより、同じ土地で1年間に2回の収穫が可能となり、大豆とトウモロコシの両方の生産量が拡大しました。コーヒーは永年性作物であり、このような二期作には適しません。
問5	答え 2 東側：太平洋、西側：インド洋	オーストラリア大陸は世界で最も小さい大陸であり、その周囲は広大な海洋に囲まれています。大陸の東側は日本やアメリカ合衆国などと同じ太平洋に面しており、一方で西側はアフリカ大陸やインド方面へと続くインド洋に面しています。大西洋は北アメリカ大陸やヨーロッパ大陸、アフリカ大陸の間に位置するため、オーストラリア大陸とは接していません。
問6	答え 3 イギリスー かつての植民地としての歴史的・経済的なつながりが非常に強かったため	1960年代までのオーストラリアは、かつての宗主国であるイギリスとの経済的な結びつきが非常に強く、イギリスを中心とした経済圏（英連邦）の中で農産物や鉱産資源を輸出していました。しかし、1970年代にイギリスがEC（現在のEU）に加盟し、ヨーロッパ域内との貿易を優先するようになったことや、アジア諸国の経済成長に伴い、オーストラリアの貿易相手はアジア中心へとシフトしていきました。
問7	答え 3 多文化社会	オーストラリアでは、かつてヨーロッパ系以外の移民を制限する白豪主義がとられていましたが、1970年代以降に廃止されました。その後は多様な背景を持つ人々が互いの民族や文化を尊重し合って共存する「多文化社会」の形成を目指しています。
問8	答え 1 パンパ	アルゼンチンのラプラタ川流域に広がる温帯草原をパンパと呼びます。この地域は肥沃な黒土（パンパ土）に恵まれており、かつては牧畜が中心でしたが、現在は世界的な小麦の生産地としても知られています。選択肢の「セルバ」はアマゾン川流域の熱帯雨林、「プレーリー」や「グレートプレーンズ」は北アメリカ大陸に位置する平原を指します。
問9	答え 2 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民族はアボリジニと呼ばれます。ニュージーランドの先住民族であるマオリや、北極海沿岸に住むイヌイットなど、他の地域の先住民族との違いを区別することが重要です。かつてのオーストラリアでは白人以外の移民を制限する「白豪主義」がとられていましたが、現在はアボリジニを含む多様な人々の文化を尊重する「多文化主義」へと政策が転換されています。
問10	答え 4 オセアニア州	広大な太平洋に位置する島々とオーストラリアを包含する地域をオセアニア州といいます。他の州と比較して陸地面積に対する海洋の面積が非常に大きいことが最大の特徴です。かつてはイギリスなどの植民地であった地域が多く、現在も英語を公用語とする国が多いなど、歴史的な共通点も持ち合わせています。
問11	答え 1 特定の地域からの移民を制限していた白豪主義が廃止され、多様な文化を尊重する多文化主義へと政策が転換されたため。	1970年代半ばまでのオーストラリアは、白人以外の移民を制限する「白豪主義」を採用しており、移民の多くはヨーロッパ出身者でした。しかし、アジア諸国との経済的な結びつきが強まる中で、人種による差別をなくし、異なる文化背景を持つ人々が共生する「多文化主義」へと政策を大きく舵を切りました。この制度的背景により、アジアや東南アジア、オセアニアといった近隣地域からの流入が加速しました。
問12	答え 1 ブラジル	南アメリカに位置するブラジルでは、1990年以降、世界的な大豆需要の増加に対応するために生産体制を強化しました。広大な土地を利用した大規模な農業が行われており、大豆の生産量は右肩上がりに急増しています。これに伴い、輸出拡大も進んでおり、現在では世界有数の大豆供給国としての地位を確立しています。
問13	答え 3 ブラジルの15歳未満の人口が占める割合（年少人口割合）は、1985年の37.1%から2035年には17.2%へと、半分以下に減少すると予測されている。	ブラジルでは経済発展に伴う生活環境の変化などにより少子高齢化が急速に進んでいます。統計データに基づく将来の人口推計では、2035年の年少人口割合は1985年の数値（37.1%）の半分以下である17.2%まで低下するとされており、人口構造が大きく変化する過程にあります。イギリスについては、総人口の増加傾向に伴い、生産年齢人口の実数も2010年比で増加する予測となっている点に注意が必要です。